

高砂市長のバランスシートを作成しました

公会計の講義を
聴講した成果です！



高砂市長のバランスシート（各年度末現在）

		人口	90,452	88,166	87,360	単位：円	
		令和元年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和元年度末 令和4年度末		
《資産の部》					《負債の部》		
流動資産	A	129,496	265,140	245,641	流動負債	D 95,461 126,289	
投資等	B	40,884	54,934	69,383	固定負債	E 1,128,245 1,189,810	
資産合計	C=A+B	170,370	320,074	315,024			
《将来の税金の部》							
将来の税金	F=C	1,053,336	996,024	955,178			
資産・将来の税金合計	F	1,223,706	1,316,098	1,270,201	負債合計	F 1,223,706 1,316,098	
		令和元年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和元年度末 令和4年度末		
《資産の部》					《負債の部》		
流動資産	A	11,713,553	23,376,303	21,459,196	流動負債	D 8,635,581 11,134,424	
投資等	B	3,698,414	4,843,338	6,661,268	固定負債	E 102,663,296 104,900,764	
資産合計	C=A+B	15,411,967	28,219,641	27,520,464			
《将来の税金の部》							
将来の税金	F=C	95,286,910	87,815,477	83,444,321			
資産・将来の税金合計	F	110,698,877	116,035,118	110,964,785	負債合計	F 110,698,877 116,035,118	

今年も6月に公表された令和5年度の財務諸表を用いて「市長のバランスシート」を作成しました。この「市長のバランスシート」は、千葉商科大学の吉田寛先生の指導に基づくもので、市が公表する財務諸表のうち、市民の財産と市長の財産を分け、市長の財産のみのバランスシートを作成するというものです。今年は都倉市政4年目の評価となり、就任直前及び前年である令和4年と比較しています。

昨年同様、市民一人当たりの「将来の税金」が就任時及び前年度よりも減少する結果となりました。主な要因として、第三セクター等改革推進債の早期償還を行ったこと、それにあたり減債基金を取り崩したことがあると分析しています。

連絡先

是非、
覗いてみて
ください！



ブログやSNSでも、活動内容等を配信しています！

Address 〒676-0071 高砂市伊保東 2-2-23

Tel/Fax 079-439-2733

HP <https://shimazuharuka.com>

E-mail shimazu.takasago@gmail.com

ブログ <https://shimazuharuka.com/blog>



@shimazu_haruka



島津明香



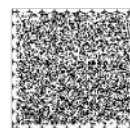
YouTube

ご意見をお聞かせください

LINE より相談を
受け付けています！

より身近に、迅速に皆様とコミュニケーションを取るため、公式LINEアカウントを開設しております。個別メッセージ機能を通じて、皆様からのご相談やご意見を直接お伺いしております。

登録は
こちら！



このコードは音声コード「Uni-Voice」です。
専用アプリで読み取ると内容を音声で聞くことができます。



後援会入会
フォームは
こちらから！

SHIMAZU

HARUKA

しまづ はるか



ご挨拶

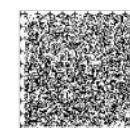
市政報告Newsをご覧いただき、ありがとうございます。

6月定例会中に行われた全員協議会では、「市民病院の移転候補地」について協議を行いました。市民の命を守るための政策に対する大きな決定である一方、その決定プロセスに市民や議会が十分に関わる機会がなかったことに、私は疑問を感じています。また、その移転候補地にあがった「文化会館」を拠点としていた文化政策の今後の方向性も示されていないままです。引き続き、納得と対話のある市政を目指し、みなさんと共に声を届けていきます。

これからも暑い日が続きます。
どうかご自愛のうえ、お過ごしください。



このコードは音声コード「Uni-Voice」です。
専用アプリで読み取ると内容を音声で聞くことができます。



市民病院の移転候補地は「文化会館敷地」に決定



その1 市民病院の移転について

高砂市民病院は老朽化や現在の病床数からは建物が大きすぎるという非効率な構造から、建て替えが検討されてきました。市は令和6年1月に策定した「市民病院将来構想」に基づき、

現地建替え **移転建替え** **大規模改修**

の3案を検討し、診療を継続しながら整備できる点と、費用面の合理性から「移転建替え」が最も望ましいと判断していました。

その2 移転候補地について

将来構想で示された移転候補地である「高砂駅周辺または荒井駅周辺」というエリアから、市は次の4つの候補地を検討し、最終的に「文化会館敷地」を選定したとのことです。

<検討された候補地>

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 案1 文化会館敷地（市有地） | 案2 市民プール跡地（市有地） |
| 案3 A企業所有地（荒井駅南） | 案4 B企業所有地（高砂町内） |

アクセス性、防災性、土地取得の可否、患者動向などを総合評価し、「市有地で取得不要」「踏切北側で緊急搬送に有利」などの点から、案1を最も高く評価したと説明されています。

島津の意見

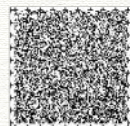


4案の検討やその後の2案への絞り込みは、議会にも市民にも非公開で進行していたこと

山陽高砂駅及び荒井駅周辺という前提を疑うことなく議論が進められたこと

市民からの合意形成や意見聴取のプロセスが存在しないこと

上記の点に、私はまず疑問を感じます。市民病院の移転は、まちの将来を左右する決断であると考えます。場所・時期・規模だけでなく、その意思決定には、私たち市民の意思が反映されるべきであったと感じています。また、候補地として、防災面の懸念もあります。「文化会館敷地」は加古川沿いで、浸水が想定される区域です。市は「止水壁や地盤かさ上げなどで対応可能」と述べていますが、災害時の医療拠点としての信頼性に不安は残ります。



このコードは音声コード「Uni-Voice」です。
専用アプリで読み取ると内容を音声で聞くことができます。

— 文化会館の今後 —

市民病院の移転候補地として、現在の高砂市文化会館敷地が選定されたことを受け、文化会館（本館・東館）はいったん解体される前提で、市の説明が進められています。市は「病院建設と並行して文化施設も整備する」としていますが、**建設場所・内容・時期などは未定です。**



文化会館がなくなる期間が発生

病院建設の工程から逆算すると、早ければ令和9年度中に文化会館が使えなくなる見込みです。しかし、市民病院の移転候補地が示された現時点で、文化会館の今後については何ら計画がされているわけではなく、文化活動の拠点が複数年にわたって高砂から消滅する恐れがあります。市はこの間の文化活動について、「地域交流センターや他市の文化施設を活用」としていますが、

- ・市内に大ホールの代替施設はなく他市の施設も利用調整が困難
- ・市内団体が大規模な会議や大会などを計画することが困難

など、市民活動に重大な影響が懸念されます。

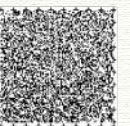


島津の意見

病院の移転候補地のみならず、文化会館の今後についても、今回の進め方には大きな疑問を感じています。

- ・全体の公共施設再編計画を示すことなく
- ・文化施設の将来像や市民合意もないまま
- ・「とりあえず病院を先に」と、代替策も提示せず文化会館の解体を前提とした発表

これは、まちの未来を背負う公共施設を、場当たりに並べ替えているだけにも感じられ、公共施設マネジメントの視点が欠けていると感じます。公共施設マネジメントとは、「必要な施設から順番に整備することではなく、全体の将来像と財政の見通しをその都度描くことから始まるべきであると考えます。公共施設マネジメントは「施設の順番」ではなく「まちの戦略」が問われているという観点から、市民の皆様の声を届けていきたいと思います。



このコードは音声コード「Uni-Voice」です。
専用アプリで読み取ると内容を音声で聞くことができます。